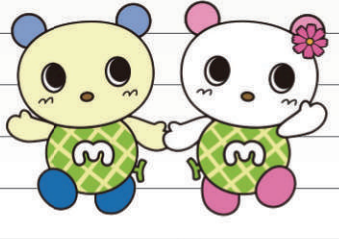


宮前区の歴史年表

世の中の出来事	西暦(年)	年号	宮前区の出来事	地図索引	出来事の説明
	4万年前頃〜1万8千年前頃	旧石器時代	鷺ヶ峰遺跡	D-4	ナイフ形石器、スクレパー(削器)出土
地球温暖化が進み海岸線が溝口付近にまで至る(縄文海進)	7千年前頃	縄文早期	潮見台遺跡	D-4	縄文早期から中期にかけての環状集落
三内丸山遺跡	6千年前頃〜	縄文前期	十三菩提遺跡	P-10	様式遺跡。年代測定の基準となる特徴的な縄文土器が出土
BC.1000年頃〜AC.250年頃	弥生時代	弥生時代	東高根遺跡	L-2	稲作のはじまり。方形周溝墓
吉野ヶ里遺跡			影向寺周辺に人が住み始める	Q-8	弥生後期〜飛鳥時代の住居跡
			白井坂遺跡輪竈跡	I-5	神奈川県内で唯一(2023年現在)の輪竈製作遺跡
400年頃〜500年頃	古墳時代	古墳時代			
武蔵国乱の乱。稲花屯倉(たちばなのみやけ)の文獻上の初出(日本書紀)	534	安閑天皇元年			
大化の改新はじまる	645	大化元年			
律令制をめざした国づくりが始まる	7世紀後半		馬絹古墳	N-7	3室が連なる横穴式石室を持つ円墳
百済人2000人を東国に住ませる	666	天智5年			
壬申の乱	672	天武元年			
7世紀後半〜8世紀初頭			古代影向寺創建	Q-8	発掘された瓦の制作年代から、現影向寺社伝を遡る古代寺院の存在を確認
僧道昭没す、初めての火葬	700	文武4年			
大宝律令の完成(国郡里制施行)	701	大宝元年			
平城遷都	710	和銅3年			この頃、武蔵国橘樹郡なるか
	740	天平12年	西蔵寺創建	Q-8	僧行基開山(寺伝)
国分寺建立の詔。758年に武蔵国分寺建立	741	天平13年			
橘樹郡の物部真根が防人の歌を詠む(万葉集)	755	天平勝宝7年			
平安遷都	794	延暦13年			
8〜9世紀	平安時代前期	平安時代前期	有馬古墓群	K-8他	獣部付骨甕器他出土
8世紀末葉	平安時代前期	平安時代前期	野川古墓群	O-10他	鉄板の「墓誌」をともなう火葬骨甕器出土
富士山大噴火。この前後300年の間に何度も噴火を繰り返す	802	延暦21年			
	867	貞観9年	石川の牧		武蔵国勅旨牧貢馬上の駒牽が行われる
平将門の乱始まる。940年終わる	935	承平5年			
源頼義を陸奥に派遣。前九年の役	1051	永承6年			
	1061	康平4年	白幡八幡大神	I-4	源頼義創建(社伝)
源頼朝、平氏打倒の挙兵。弟の全成を長尾の威光寺尊主とする	1180	治承4年			
源頼朝、征夷大将軍となる。枳形山城主堀毛三郎重盛が活躍する	1192	建久3年			
	1233	天福元年	菅生神社創建	G-4	神社は、平の白幡八幡大神分霊を祭る八幡と称した(神奈川県神社誌)
	13世紀半ば	鎌倉時代	西明寺創建	L-9	現在の下有馬不動堂は、その寺遺跡。北条時頼開基の寺ともされる。戦いに朽ちに移る(寺伝)
北条時頼、執権となる(1246年)	1275	建治元年	本通寺創建	I-3	白蓮の弟子日朗の持仏を受け庵を設ける(寺伝)。天正10年中興
鎌幕府滅亡	1333	元弘3年			
	1335	建武2年	太田洪子郷		近江の佐々木氏(導善の母)が太田洪子郷の領家職を相伝。後の神木・土俵地域
南北朝時代の始まり。足利尊氏、幕府を開く	1336	光明3年。延元元年			
	1337	建武4年	有馬の板碑	K-9	福王寺境内の板碑は区内最大の完全品
	1398	応永5年	菅生郷大蔵御殿社	H-6	菅生郷大蔵の御殿社の門口が造られる(風土記編)
太田道灌、江戸城を築く	1457	長禄元年			
応仁の乱始まる	1467	応仁元年			
	1481	文明13年	東泉寺創建	K-3	創建(寺伝)。永禄年間に復興
	1504	永正元年			
	1505	永正2年	泉福寺	M-7	泉福寺中興開山智賢没す。(寺伝)
北条氏綱、上杉朝興の裏で江戸城を落とす。この川崎川流域は後北条氏の勢力下となる	1524	大永4年			
	1531	享禄4年	野川郷・有馬郷の初出		武州野河郷(影向寺十三神将墓書銘)。有馬郷も堀毛氏の惣と思われる「菅生郷」の初出(永禄8年)
北条氏康「小田原家原領後帳」をつくる	1559	永禄2年			
	1573	元龜4年	等覚院	K-2	等覚院中興開山宗茂没す(位牌)
	1573	天正元年	秋月院創建	F-3	秋月院前身の太木庵創建。文禄年中に改称(風土記編)
	1590	天正18年	皇国秀吉の禁制		平土橋村・長尾村宛てに禁制禁制が出る
小田原北条氏滅亡	1591	天正19年	長善寺	M-10	長善寺中興開山眞賢没す(風土記編)
	1602	慶長7年	福王寺	K-9	福王寺開山僧没す(風土記編)
		慶長8年			
徳川家康、江戸幕府を開く	1603				
小泉次大夫、二ヶ嶺用水工事を完成させる	1611	慶長16年			
	1612	慶長17年	長安寺	G-4	長安寺開祖長安没す(寺伝。墓碑銘)
	1671	寛文11年	野川西蔵寺の庚申塔	Q-9	区内最古の庚申塔。西蔵寺門前の石造地蔵菩薩立像
	1695	元禄8年	正福寺	J-6	この御創建か(阿弥陀如来銘)。江戸末期被災後現在地にうつる
富士山噴火	1707	宝永4年			
徳川吉宗八代将軍になる	1716	享保元年			
この頃幕府より新田開発が盛んに行われる	1731	享保16年	大野原新田開発	D-4他	大野原新田(天真寺新田)の検地が行われる。現在の菅生ヶ丘周辺。享保13年の礎(風土記編)
	1735	享保20年	天真寺祥龜庵	E-4	麻布大蔵寺の御殿跡の御殿跡没す庵には松平不昧公が訪れていた(風土記編)
	1716〜1736	享保年	稗原の天主社勧請	D-4	疫病流行時、麻布天真寺僧が勧請
	1764	宝暦14年	草西国堀毛三十三菩薩會場	I-4他	平村の山田平七が認定。住居跡の薬王廟は三十三番札所
	1774	安永3年	大蔵の月待供養塔	H-6	天神社前の石造二丁夜塔建立。区内に3基現存のうちの1基
	1784	天明4年			
	1816	文化13年	「新編武蔵風土記稿」橘樹郡の藩さんなる		
明治維新。江戸遷都で東京と改める	1868	明治元年			
鹿藩置県で神奈川県が置かれる	1871	明治4年			
明治5年12月3日を6年1月1日とする	1872	明治5年			向丘小学校の創設
地租改正条例	1873	明治6年			
1873〜1877		明治6〜10年	学校教育の始まり		盛徳学園(野川)、鳴鶴学校(馬絹・有馬・土橋)、成始・化育学校(長尾・平)、初山寺舎(寛土)
大日本帝国憲法発布	1889	明治22年	町村制の施行により宮前村・向丘村誕生		堀ヶ谷村・野川村・馬絹村・有馬村・土俵村が合併し宮前村に。平村・菅生村・長尾村・上作區村が向丘村になる
日清戦争始まる	1894	明治27年			
日露戦争始まる	1904	明治37年			
神社登記令により統廃合が行われ、神社名が改まる	1907〜1910	明治40〜43年	神社の統合		神社統合令により村境ごとによりに合祀される。白幡八幡大神・菅生神社・土俵神社・馬絹神社・有馬神社、野川神社、長尾神社、大山街道の二子から荏田間を6人乗りの輦付馬車が走る
	1913	大正2年	馬車の運行開始		
	1922	大正11年	向丘村に電灯がつく・私立図書館ができる		市内最初の私立図書館が本通寺にできる
関東大震災	1923	大正12年	乗合自動車運行		有馬の村道を乗合自動車走る
川崎市誕生。人口4万8,394人	1924	大正13年			
ラジオ放送開始(NHK)	1925	大正14年	宮前村に電灯がつく		
金融恐慌起こる	1927	昭和2年			
盧溝橋事件、日中戦争開始	1937	昭和12年			
	1938	昭和13年	川崎市に編入		
	1940	昭和15年	軍用地に接収軍用地道路の建設	N-O-6他	宮前村・向丘村が廃止され川崎市に編入陸軍東部62部隊など軍用地利用のため、接収が始まる。軍用地道路は、昭和21年黒手黒川線となる
太平洋戦争始まる	1941	昭和16年			
終戦。第一次農地改革の指令	1945	昭和20年			
第二次農地改革の指令。日本國憲法公布	1946	昭和21年			
新憲法施行。教育基本法公布、6・3・制実施	1947	昭和22年	小学校、中学校に改称		国民学校を改め川崎市立高崎・向丘・野川小学校となる。高崎・向丘中学校設置
朝鮮戦争始まる。川崎市営バス営業開始	1949頃	昭和24年頃	神木の天清宮再建	L-3	旧赤城神社跡地に天清宮再建
サンフランシスコ講和条約の締結	1950	昭和25年			
テレビ放送開始(NHK)	1953	昭和28年			
	1954	昭和29年	国道246号線開通		
川崎市の人口50万人突破	1957	昭和32年			
岩戸景気	1958〜1961	昭和34年			
	1959	昭和34年	東急バス 区内で運行開始		小塚〜有馬〜荏田 開通
	1961	昭和36年	住宅地急増		この頃から土地開発が盛んになり、南平・有馬団地などができる
東海道新幹線開通。東京オリンピック開催	1964	昭和39年			
1964〜1972	昭和39〜47年		都市ガスの普及		宮前区内に都市ガスが普及する
1965	昭和40年		第三京浜道路全線開通		
いさなぎ景気	1965〜1970	昭和41年	東急田園都市線開通		長津田まで通る。区内に宮崎台・宮前平・鷺沼駅ができる
	1967	昭和42年	鷺沼配水所完成	J-7	鷺沼配水所ができ、翌年鷺沼プールが開設
	1967〜1986	昭和42〜61年	市立小学校の統廃合		菅生小学校をとしのり15校が次々と閉校する
	1969	昭和44年	東名高速道路全面開通		
大阪万国博覧会開催	1970	昭和45年			
	1971	昭和46年	東高根緑林公園開設	L-2〜3	台地上の集落遺跡(泉史跡)とシラカシ林(興天然記念物)の指定。昭和48年公立公園となる
沖縄が日本復帰。日中国交正常化	1972	昭和47年	区制施行		改令指定都市となり高津区誕生
	1972頃	昭和47年頃	小台の八幡神社再建	K-6	馬絹神社に合祀されていた小台の八幡社を旧跡地に遷置
川崎市の人口100万人突破	1973	昭和48年			
	1976	昭和51年	堀ヶ谷貨物ターミナル完成	O-7	武蔵野南線建設計画が昭和42年に始められた
新東京国際空港(成田)開港	1978	昭和53年	田園都市線、都心へ直通		地下鉄半蔵門線開通により、都心へ直通。利便性が増す
	1979	昭和54年	川崎考古学研究所開設		有馬の持田春吉氏により地元の発掘資料を収集した研究所でつくる(平成6年中閉所)
	1982	昭和57年	宮前区の誕生		高津区から区分し宮前区となる7/1現在 14万8956人
バブル経済の崩壊	1991	平成3年			
阪神淡路大震災	1995	平成7年			
	2005〜8	平成17〜20年	大蔵の谷戸の開発	H-I-6〜7	
	2006	平成18年	宮前スポーツセンターカヌー・カヌー競技場開設アリーナ(有馬、野川生涯学習支援施設)	H-5J-7L-9	
東日本大震災	2011	平成23年			
	2015	平成27年	橘樹官衛遺跡群国史跡指定	S-8	
	2016	平成28年	鷺ヶ峰遺跡の旧古墳時代出土品が市重要歴史記念物に指定	D-4	
	2017	平成29年			
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行	2020	令和2年			
東京オリンピック2020開催	2021	令和3年			
川崎市市制100周年	2024	令和6年			



人口：令和7年1月1日現在 23万4598人

宮前区歴史ガイド



新編武蔵風土記稿 正保年中改定図より

川崎市宮前区役所地域振興課
宮前区歴史文化調査委員会

宮前区の民俗芸能(初山の獅子舞)

初山獅子舞保存会が継承に取り組み、奥の無形民俗文化財に指定されています。以前は初山の正八幡社で舞われていましたが、明治43年(1910)、菅生神社に合祀されたに伴い、以降は菅生神社の境内に設けられた円形土俵を舞臺として、10月の例祭で行われています。獅子舞(江戸時代の制作と考えられる)をつけて舞う一人立三匹獅子舞で、2匹の雄獅子と1匹の雌獅子、それに青鬼い(くにおい、天狗)が舞います。初山の獅子舞は地を這うようにして舞うのが特徴です。区内の民俗芸能としては他に、有馬大正踊り・平磯子・土俵方踊り・白幡八幡大神の福宜舞・野川神明社祭獅子などがあります。



第19回宮前区フォトコンテスト 審査委員長特別賞

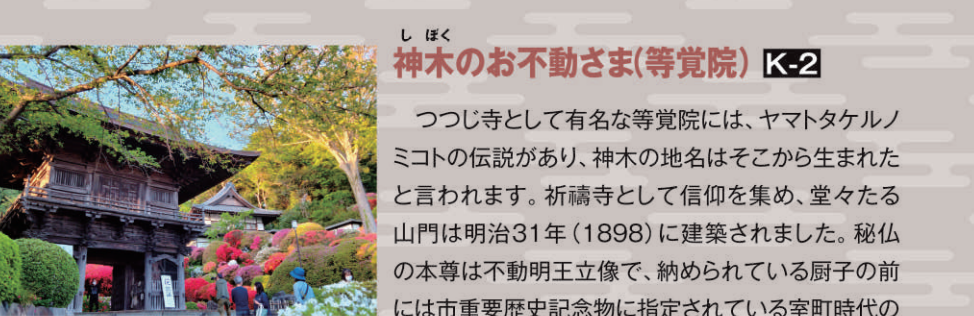
白幡八幡大神の福宜舞

白幡八幡大神の福宜舞は、篠川康家の関ヶ原出陣の戦勝祈願が始まりといわれる一人舞で、神主の小泉家に一子相伝で伝えられています。舞は素面による四方舞の舞の後、面と衣裳を取替えて五座の袴々の舞を行うもので、市の重要習俗技芸に指定されています。



長安寺 G-4

浄土真宗法林山長安寺は京都仏光寺の末寺。中興開基は小田原北条氏の家臣であった杉田門閤治良長安で、その子孫に杉田玄白(解体新書を著す)がいます。また開宮長蔵は玄白の縁戚関係であるとされています。長安は慶長17年(1612)に没しました。山号は長安の法名からきています。



木造薬師如来坐像が安置されています。又、川崎市地域文化財になっている安政7年(1860)銘の手洗鉢は丸形りの邪鬼が支えており、裏面には広範間人々々により奉納されたことが記されています。

馬絹古墳 O-7

矢上川に沿って開けた沖積地を望む高台の南縁に位置している古墳です。直径は約33m、高さは北側で3m、南側で4.6mあり、内部に全長9.3mの大型の横穴式石室のある円墳です。発掘調査では副葬品は盗掘され残っていませんでしたが、石室の玄室側壁・奥壁や玄門などに白色粘土で、円文や形の判然とした装飾文様が描かれています。埋葬された人はこの地域を治めていた有力豪族だったと考えられています。石室は、ブロック状にとのえた石材を組み合わせた「切石切積」風のもので、7世紀後半に築造されたものと考えられており、南武蔵における終末期古墳として県指定古墳に指定されています。

初山の十王堂 H-4

元禄年間(1688-1704)の創建と言われています。十王は、道教や仏教で地獄において亡者の審判を行う裁判官で、閻魔大王はそのひとりです。天保15年(1844)、当時の世話人6人を中心に地域の寄進で入仏供養が行われました。菅生神社例祭の宵宮の日には、十王堂境内の土俵で初山の獅子舞が行われます。

三十三所観音霊場 L-4他

(準国司堀毛三十三番札所観音霊場)
この観音霊場は、江戸時代の宝暦4年(1754)に、観音菩薩への信仰が篤かった武州橘樹郡堀毛領平(現・川崎市宮前区平)の山田平七翁が国司三十三所観音霊場を巡拝して帰り、国司三十三体の観音さまを近郷に導きたまえと発願し、国司観音霊場になぞらせ、現在の宮前区・多摩区内の寺院三十三箇所の観音菩薩に、天下泰平・国家安全・五穀成就・万民快楽等の人々の幸せを祈念する霊場として生まれたのが始まります。区内にはつづき十箇所があります。

11番札所 秋月院(菅生)

12番札所 福王寺(有馬)

25番札所 千手堂(馬絹 泉福寺)

26番札所 泉福寺(馬絹)

28番札所 神木観音堂(神木本町)

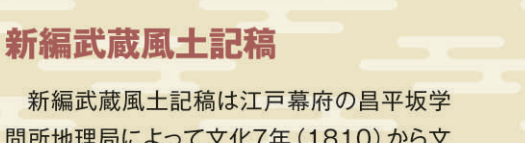
29番札所 千手堂(神木本町)

30番札所 観音堂(土橋)

32番〓札所 西蔵寺(野川)

32番〓札所 栗王庵(平) 山田平七翁の墓

33番札所 東泉寺(平)



新編武蔵風土記稿

新編武蔵風土記稿は江戸幕府の昌平坂學問所地理局によって文化7年(1810)から文政13年(1830)にかけて編纂され、川崎市に相当する橘樹郡は文化13年(1816)ごろに作られています。調査は各村に地誌取調書(かきあけ)を提出させた上で、実地調査も行われました。調査内容は自然、歴史、農地、産品、神社、寺院、名所、旧跡など多岐にわたり、当時の土地や地域に関する詳細な事項が記録されています。

御獄講

御獄講は奥多摩の御岳山を聖地とする講で、江戸時代後期に始まり、御岳山の宿坊に泊まり御師の先導で御獄神社を参拝しました。宮前区では嵯原、菅生、土橋、馬絹、有馬で盛んに行われ、一部は現在も続いています。「武蔵国御岳山大口真神」と記された護符は農耕・火防・盗難除けとして使われています。



大神の御師

宮前区歴史ガイド参考文献(第5版)

川崎市史(川崎市) 昭和63年〜平成6年(1988年〜1994年)
川崎地名辞典(川崎市、日本地名研究所) 平成8年(1996年)
川崎の町名(川崎市、日本地名研究所) 令和6年(2024年)
かわさき文化財読本(川崎市教育委員会) 平成3年(1991年)
川崎の道跡2012(川崎市教育委員会) 平成24年(2012年)
武蔵国橘樹官衛遺跡群の考古学(村田文夫) 平成28年(2016年)
史跡橘樹官衛遺跡群 橘樹歴史公園(川崎市教育委員会) 令和6年(2024年)
新編武蔵風土記稿(内務省地理局) 明治17年(1884年)
江戸名所図会(斎藤長秋) 天保7年(1836年)
川崎市石造物調査報告書(川崎市教育委員会)昭和54年(1979年)(順不同)

宮前区歴史ガイドの改訂によせて

今回第5版を発行することになりました。平成13年の初版以来、この20数年の間に、宮前区の様子も大きく変化しました。地図面では、かつて区内にあった谷戸を紹介していますが、現在の地勢と比べるとその変化に驚かれます。宮前区の地形や歴史・文化の、これまでと今を知る手として、この「歴史ガイド」をご活用ください。何気なく暮らしているまちの魅力に気付くことができるとと思います。

令和7年3月 宮前区歴史文化調査委員会

**アプリ(Avenza Maps)を使って
スマホやタブレットで閲覧できます**

AvenzaMapsは世界中のフリーマップがダウンロードできるアプリです。この「宮前区歴史ガイドマップ」はAvenzaMapsを使うことで常に持ち歩くことが可能です。通話回線の通じない山中でもGPS機能を使って簡単に自分の位置を地図上で見ることができ、行きたい場所をあらかじめ地図上に落としてから出かけたリ、覚えておきたい場所を写真付きで地図に落とすこともできます。

アプリはAvenzaMapsで検索するか、以下の二次元コードからダウンロード可能です。地図はアプリ内の地図の追加から、以下の二次元コードを読み取るか、ストアから「宮前区歴史ガイドマップ」と検索することでダウンロード可能です。

アプリのダウンロード

影向寺 Q-8 と橘樹郡家跡 R-3

天台宗徳山影向寺は、縁起では天平12年(740)に聖武天皇の勅願により行基が創建したと伝えられてきましたが、これまでの発掘調査により、それよりも約半世紀遡る7世紀末頃創建の白鳳寺院であり、南関東地方屈指の古刹であることが分りました。現在の本堂である薬師堂(県指定重要文化財)は元禄年間に改築されたものですが、境内には古代に建てられた三層塔の心礎と考えられる「影向石」が残っています。橘樹郡家跡は、古代影向寺とほぼ同時期に造営された古代武蔵国橘樹郡の役所跡です。郡家には、主要施設として郡庁・庁倉・館・厨家がありましたが、現在のところ橘樹郡家跡では、当時の院である堀等を収めた正倉が多数設置された正倉院のみ確認されています。平成27年には影向寺遺跡を含む橘樹官衛遺跡群が川崎市で初めて国史跡に指定されました。また、令和6年には全国初となる飛鳥時代の正倉(倉庫)の復元した橘樹歴史公園がオープンしました。

影向寺出土の「群」の文字瓦 Q-8

この文字瓦に刻まれた文字(无射志国荏原群(むさしのくにえはらこおり))は、国群を併記する表記方法で用いられていたことから、天武12年(683)〜文武4年(700)に制作されたことが推定されます。影向寺の創建に多摩川を挟んで隣接する荏原群の協力があったことなども推定できます。影向寺遺跡からは「郡」と刻まれた瓦も見つかっています。これは、隣接する郡筑郡のことを示していると考えられ、影向寺の造営または修理に際しては、荏原群だけでなく、郡筑郡からの支援もあったことが推定されます。



提供 川崎市教育委員会

影向寺の仏像 Q-8

本尊の薬師如来像は平安仏として有名です。中尊は釋尊で、左右に脇材の日光・月光両菩薩像を従えた一木造りの薬師三尊像です。仏像としては川崎市域で唯一の国指定重要文化財です。また、聖徳